令和４年度 第１回三条市総合教育会議　会議録	
１　日　時	令和４年 11 月 24 日（木）午後１時 30 分～午後１時 47 分
２　場　所	三条市役所栄庁舎　中会議室
３　出席者	構成員（５人）　滝沢市長、長谷川教育長、小林教育委員、佐藤教育委員 松井教育委員 事務局（９人）　栗林教育部長、野水教育総務課長、平岡子育て支援課長、 熊倉学校教育課長、星教育センター長、 恋塚生涯学習課長、石塚健康づくり課長 坂井教育総務課課長補佐、佐藤教育総務課庶務係長
４　傍聴人	１人
５　議　題	(1) 三条市教育大綱（案）について
６　会議内容	
滝沢市長	**１　開会** それでは定刻となりましたので、これより令和４年度第１回三条市総合教育会議を開催させていただきます。 教育委員の皆様におかれましては、大変御多用中にもかかわらず御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。 本日は、令和５年度から令和 10 年度までの６年間を対象期間とする三条市教育大綱（案）について御意見などをお伺いし、自由に意見交換をさせていただく場にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
滝沢市長	**２　議題** それでは、お手元の次第に沿いまして議事を進めさせていただきます。 私の方からの提案であります「三条市教育大綱（案）」につきまして、教育委員会事務局から説明をお願いします。 ～野水教育総務課長　説明
滝沢市長	ただ今の件につきまして、御意見等がございましたらお願いいたします。
松井委員	現行の教育大綱では、「Ⅲ　大綱の基本目標」や「Ⅳ　大綱の基本方針と施策」のように、「大綱の」という文言が入っていました。今回の案は、「Ⅲ基本目標」や「Ⅳ　基本方針」となっていますが、あえてその文言を入れなかったということでしょうか。
野水教育総務課長	現行の教育大綱につきましては、当時先行して策定した教育基本方針と区別する意味で、「大綱の」という文言が入ったものと思われます。 今回の教育大綱（案）につきましては、２回目の策定となりますので、こ

	の大綱を定めるに当たって、「Ⅰ　大綱の趣旨」と「Ⅱ　大綱の構成と期間」については「大綱の」という文言をいれましたが、Ⅲ以降につきましては「大綱の」という文言がなくても、大綱の基本目標であり、大綱の基本方針であるということを読み取りいただけるものと考え、入れなかったものであります。
松井委員	現行の大綱では、基本目標に子育てについての項目として「安心して子育てを楽しめる環境の形成」が設定されていましたが、この大綱案には子育ての項目がないようです。どうしてでしょうか。
栗林教育部長	当市の教育委員会は、本来は市長部局である子育ての部門があることから、現行の教育大綱では、子育て支援の項目を目標として掲げたのではないかと思われます。 今回の教育大綱（案）を策定するに当たり、その根拠法令となる地方教育行政の組織及び運営に関する法律を確認した上で、項目の整理をいたしました。 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１条では、「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を定めるものとしていることから、子育て支援の項目を外したものでございます。 なお、三条市総合計画では、子育て支援の項目は明記しておりますので、よろしくお願いします。
小林委員	大綱ということで、教育全体の大枠を示す内容となっていることから、基本的な方向性はこれでいいと思います。 基本方針の 1 番に「三条市の教育システムの深化」とありますが、三条市の教育システムは何だというところが、参考資料や別注がないと分からないと思います。 参考資料などが必須になるのでないかと、若干の危惧をしています。
栗林部長	毎年発行しております「三条市の教育」では、「教育大綱」と「教育基本方針」が並んで掲載されています。 この後に開催する教育委員会協議会では、「教育基本方針」の内容について御審議いただきますが、教育大綱と教育基本方針は密接に関係しており、教育基本方針では、「三条市の教育システムの深化」を始めとした、各基本方針の内容と想定される取組が記載されております。 大綱は、大枠を示したものですが、基本方針と一緒に見ると分かると思います。 それらの点につきましては、協議会の中でも説明いたします。

長谷川教育長	教育大綱というものは、教育委員会と市長とで三条市の教育行政等について、思いをお互いに確認しながら策定していくものだと思います。 我々は、本年度で約13年経過する「小中一貫教育」について、三条市の教育の基本として取り組んできました。これは、幼保小連携も含めて、今後も推進していきたいと考えています。 市長は、就任以来２年余り経過した中で、三条市の小中一貫教育について、どのようにお考えなのか、この大綱に掲げているように、小中一貫教育を洗練・深化したいというような思いがあれば、お話しいただければと思います。
滝沢市長	深化という言葉からも分かるとおり、何か新しいことや突飛なことをするというよりも、今の課題を一つ一つ取り組んでいかなければならないと思います。 それは、ICT教育や教職員の働き方改革に伴う課題など、様々な課題がある中で、目立つようなことばかりをするのではなく、地道なことについても、しっかりと予算や人を十分つぎ込んで一つ一つ実施していくことが、10年後、20年後の三条市がいいまちになるために大事なことだと思います。 その地道なことを、市長部局や教育委員会がタッグを組み、市民の皆様の力や先生方の力も借りながら実施していくということが、遠回りのようで一番の近道であると私は考えています。 本年度、小中一貫教育推進課から学校教育課という課名に変わりましたが、それによって、小中一貫教育というものを無くすとか、これまでの取組を否定するというのではなく、地道な取組を今後も続けていく中で、これまでの小中一貫教育というものを更に深めつつ、教育の課題について、一つ一つ地道に潰しながら前に進んでいこうと思います。
長谷川教育長	私は、子どもたちのために、市長と教育委員会がお互いに議論を深めながら、しっかりとタッグを組んで進んでいくことが大事であると思っていましたので、そのような話が聞けて安心しているところです。 先行きが不透明な社会に立ち向かって、子どもたちを育成しなければならないと言われていますが、先が見えるような教育をしていくことが大切だと考えておりますので、今後もお力添えをお願いします。 佐藤委員はいかがですか。
佐藤委員	今後も、お互いに整合性を図りながら、タッグを組んで進んでいければと思いますので、よろしくお願いします。

滝沢市長	それでは、他に御発言がないようですので、「三条市教育大綱（案）について」は、提案どおり決定するということでよろしいでしょうか。 ～異議なしの声あり
滝沢市長	御異議がありませんので、「三条市教育大綱（案）」は提案どおり決定いたします。 この「教育大綱」により、今後、市長部局と教育委員会の連携を更に強化していきたいと思います。
	３　閉会
滝沢市長	以上をもちまして、令和４年度第１回三条市総合教育会議は閉会とさせていただきます。 本日は、大変お忙しい中お集まりいただき、御審議いただきましてありがとうございました。